

中央会やまぐち

特集

- ①第76回中小企業団体全国大会を開催
- ②令和7年度山口県の施策・予算に関する要望書を提出

Close Up組合 山陽アグリネットワーク協同組合

中央会TOPICS

組合TOPICS

景況動向

巻末特集 おかげさまで創刊800号を迎えました！



12

2024
DEC

Vol.800



令和7年度山口県の施策・予算に関する要望書を提出
(左から坪野副会長、田村副会長、矢敷会長、村岡県知事、喜多村副会長、宮本副会長、坂本専務理事)



組合員の皆様 左から4番目：田中理事長

Close Up 組合

クローズアップ

山陽アグリネットワーク協同組合

〒757-0005 山陽小野田市大字鴨庄17番地の1

TEL 0836-72-1161

FAX 0836-72-1551

代表理事 田中 覺

共同でドローンを導入し農作業を効率化

組合の概要

当組合は、山陽小野田市の6つの農事組合法人の出資により、平成31年1月に設立されました。各法人の集積面積は20ha前後と小さく、高齢化の進展や農産物価格の低迷など厳しい経営環境に置かれていました。

そこで、この苦境を打破すべく協同組合を立ち上げ、農薬散布用のドローンを共同購入し、組合員が行う防除作業を共同で実施することにより、組合員の農作業の効率化を図ることとしました。

ドローンによる共同事業

農薬散布ドローンの相場は1台あたり100万円以上と高額であり、小規模の農業法人にとっては購入ハードルが高いため、ドローンの購入にあたっては、県の補助金を活用しました。

共同防除作業の流れとしては、まず防除作業を希望する組合員Aが組合に申込を行い、組合が作業を実施する組合員Bを選定します。そして、組合員Aの立会いの下、組合員Bから選定されたオペレーターがドローンによる防除作業を実施します。作業実施後、組合員Aは組合に委託料金を支払い、組合から組合員Bのオペレーターに対し給与が支払われます。

このように、組合員同士で作業の受委託を行い、農薬散布を行うドローンオペレーターも組合員から選定することで、組合員間の連携強化及びコスト削減につながっています。また、オペレーターは農業収入だけでなく、オペレーターとしての収入も得ることができるため、所得向上にもつながっています。

事業実施にあたっては、定期的に役員会を開催して事業計画等について協議するとともに、オペレーターとの合同連絡会議を行い、ドローン防除の運用方法等について協議を行っています。

また、ドローン操作に関する最新知識や技術についての講習会を毎年開催しており、オペレーターの育成にも力を入れています。



ドローン講習会の様子

今後の事業展開

設立以後、防除作業面積は拡大しており、売上高は増加しています。また、年数を重ねるにつれオペレーターの技術も熟練し、効率的な作業が行われるようになってきており、適切な時期に適切な防除を実施することができるようになったことで、天候等の影響はあるものの、概ね平年以上の収穫量を達成できています。

今後、さらなる効率的な防除作業ができるよう、組合員間の連携を強固にし、共同事業に取り組んでいきたいと思っています。

第76回中小企業団体全国大会を開催

全国中小企業団体中央会・福井県中小企業団体中央会は、10月24日(木)、福井市のフェニックス・プラザにおいて、第76回中小企業団体全国大会を開催、全国から中小企業団体の代表者約2,000名が参集し、山口県からは矢敷会長を始め17名が参加しました。

はじめに、森洋・全国中小企業団体中央会会長の開会挨拶があり、稲山幹夫・福井県中小企業団体中央会会長から開催地挨拶、中村保博・福井県副知事及び西行茂・福井市長から歓迎挨拶がありました。

また、武藤容治・経済産業大臣及び福岡資麿・厚生労働大臣からのビデオメッセージが披露されるとともに、関根正裕・株式会社商工組合中央金庫代表取締役社長よりご祝辞を頂戴しました。

その後、稲山幹夫・福井県中央会会長が議長に、野村泰弘・大阪府中央会会長、伊藤學人・広島県中央会会長がそれぞれ副議長に選任されて議事が進行し、「中小企業・小規模事業者等の環境変化対応、成長促進支援等の拡充」、「中小企業・小規模事業者の実態を踏ま

えた労働・雇用・社会保険料対策の推進」、「中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備」など14項目を決議しました。

また、櫻井一郎・熊本県中央会会長が意見発表を行い、本大会の意義を内外に表明するため、若山健太郎・福井県中小企業団体青年中央会会長が「大会宣言」を高らかに宣しました。

併せて、本大会では、優良組合（43組合）、組合功労者（72名）、中央会優秀専従者（25名）の表彰が執り行われ、山口県からは優良組合として、企業組合うずしお母さんの店（宇野素代子理事長）、組合功労者として、宮本ゆり子氏（山口県鉄筋工業協同組合理事長）、藤井彰氏（ヘッドアイ協同組合理事長）、杉本成弘氏（山口県左官業協同組合理事長）が全国中小企業団体中央会会長より表彰されました。

次期全国大会については、令和7年11月12日(水)、広島県広島市において開催することが決定しました。



全国大会の様子



山口県からの参加者



優良組合の総代として登壇
企業組合うずしお母さんの店（宇野素代子理事長）



(左から) 藤井彰氏 杉本成弘氏 企業組合うずしお母さんの店 宮本ゆり子氏
宇野素代子氏 中本敦子氏

山口県中小企業団体中央会

中央会では、今年の8月から9月にかけて実施した移動中央会等において、会員の皆様からお聞きしたご意見・ご要望を取りまとめ、国や山口県の施策・予算に反映していただくよう、要望活動を展開しているところです。

その一環として、10月28日(月)、矢敷会長（山口県火災共済協同組合理事長）、喜多村副会長（防府流通センター協同組合理事長）、田村副会長（萩ブランド協同組合理事長）、宮本副会長（山口県鉄筋工業協同組合理事長）、坪野副会長（山口県菓子工業組合理事長）、坂本専務理事が村岡山口県知事を訪ね、直接要望書を提出しました。知事からは、「人手不足や価格転嫁等に苦慮されているという声を直接聞くことができた。要望内容については、施策・予算検討の参考にし、皆さんが安心して業務の遂行ができるよう考慮したい。」との言葉をいただきました。

また、10月22日(火)には、自由民主党山口県支部連合会に、11月24日(日)には、公明党山口県本部に、それぞれ坂本専務理事より要望書を提出しました。

今後とも、会員の皆様の声を、国や県にしっかりと届けてまいります。



村岡県知事に要望書を手渡す矢敷会長



村岡県知事との意見交換の様子



自由民主党山口県支部連合会に提出



公明党山口県本部政策懇談会に提出

「令和7年度山口県の施策・予算に関する要望書」概要

1 急激な事業環境変化に対応した経営安定化支援の拡充強化

- (1) エネルギー・原材料価格の高騰等により経営環境が逼迫している中小企業等への支援
省力化・省エネ化・高効率化に向けた設備導入を促進するための補助率の高い補助制度の創設 等
- (2) 中小企業等が持続的に賃上げできる環境整備の強化
「賃上げ環境整備応援奨励金」の再度の措置、業務改善助成金の上乗せ補助等小規模事業者に配慮した支援策の強化 等

2 経済社会の変化に対応し持続的に発展するための支援の拡充強化

- (1) **変革・成長を志向する中小企業等への支援の実効性**
地域や業界の将来を見据えた取組に対し、現状分析・事業計画策定から事業実施に至るまでの一体的な支援 等
- (2) **中小企業等のデジタル化、DX推進に向けた支援**
長期的に専門家を派遣する体制の整備、ハード・ソフト導入経費に対する支援の拡充、「県－中央会－組合－組合員」の情報ネットワークの構築 等
- (3) **中小企業等の脱炭素化の促進に向けた支援**
脱炭素化の意識改革、取組に対する優遇措置、業界の共同の取組に対する助成 等
- (4) **中小企業等の危機管理対策強化に向けた取組への支援**
計画の実効性を高めるための優遇措置の拡充 等

3 労働力減少下における人材確保・事業承継対策の強力な推進

- (1) **中小企業等の実態を踏まえた人材確保対策の拡充強化**
女性の就業に繋がる環境づくり、UJIターン就職支援の拡充、労働条件・職場環境の改善による魅力の強化やその取組の情報発信、採用活動への支援 等
- (2) **外国人材の活用と選ばれる県となるための取組の強化**
外国人材の受入れ体制・生活環境の整備、文化・社会に対する理解の増進、送り出し側の国との積極的な交流 等
- (3) **技術・技能者不足が深刻化する業界の人材確保対策の拡充強化**
業界のニーズを捉えた技術・技能者の養成、工業系高校の維持・拡充、技能検定試験の受験者数増加、資格取得・教育訓練に対する助成、年少期からのものづくり体験 等
- (4) **働き方改革に伴う課題に直面する業界への支援**
トラック・タクシードライバーの確保・定着や物流システムの効率化への支援、建設工事における下請事業者等への週休二日制の確保 等
- (5) **担い手不足の中小企業等の経営維持・事業承継に対する支援**
専門家派遣による無料相談事業の拡大、M&Aへの助成、県内ネットワークの強化 等

4 官公需対策の強力な推進

- (1) **官公需予算の確保・中小企業への優先発注と県産品の活用促進**
官公需予算の安定的・継続的な確保及び地域中小企業への優先発注、官公需適格組合への受注機会の確保、公共工事・学校給食等の県内企業生産品の使用 等
- (2) **官公需予算の適切な執行**
直近の実勢価格を踏まえた設計価格の設定、印刷物の入札最低制限価格の引上げ、設計労務単価の引上げ、3月末工期集中の見直し 等
- (3) **特定課題を抱える業界への支援**
 - ① 道路・港湾関連施設の整備促進
 - ② 道路コンクリート舗装の推進
 - ③ 学校水泳授業の民間委託
 - ④ 岩カキの採苗・育成

5 地域の課題解決・活性化に取り組む事業者支援の拡充強化

- (1) **地域の安心・賑わいを担う地域事業者に対する支援**
イベント補助の継続・拡充、アーケード等の補修・整備・撤去への支援 等
- (2) **企業組合に対する支援**
地域と一体となった事業維持の体制づくり、人材確保・育成、販路開拓への支援 等
- (3) **特定地域づくり事業協同組合の設立及び運営支援**
設立・運営のマニュアルづくり、設立後の運営支援措置 等

6 中小企業組合等連携組織の活用と支援の拡充強化

- (1) **事業環境の変化への対応を後押しするための組合等連携組織への支援**
中小企業組合の設立や事業運営への支援の拡充・強化 等
- (2) **中小企業団体中央会の指導体制・支援機能の拡充強化**
中央会指導員の活動を質的・量的に強化するための予算の確保・拡充 等

※ 要望内容の詳細は、山口県中小企業団体中央会ホームページをご覧ください。



本会HPはこちら

中小企業省力化投資補助金セミナー in 山口を開催

山口県中小企業団体中央会

本会は、人手不足に悩む中小企業等がIoT、ロボット等の人手不足解消に効果がある汎用製品を導入する費用を補助する「中小企業省力化投資補助金」の地域事務局を担っています。11月6日(水)には、同補助金の応募から事業完了まで、分かりやすく解説する説明会を山口市「セントコア山口」にて開催し、約60名の方に参加いただきました。

セミナーでは、中国経済産業局 柿本経営支援課長補佐より「中小企業省力化投資補助金の制度概要」、(独)中小企業基盤整備機構 中国本部 三橋氏より「人手不足対策に関する施策」、その後、中小企業省力化投資補助金事務局より、「人手不足に効く!【省力化投資補助金】活用法」、「スムーズな交付申請」、「インフォメーション窓口」について、それぞれ説明が行われました。

説明会終了後には、補助金の利用を検討している企業や、自社の製品を「省力化製品」として登録したいという企業の参加により個別相談会も開催されました。(連携支援部 田中)



「令和6年度山口県商工団体青年部懇話会」を開催

山口県中小企業団体中央会青年部



11月8日(金)、山口市のユウベルホテル松政で「令和6年度山口県商工団体青年部懇話会」を開催しました。

本懇話会は、山口県商工会議所青年部連合会、山口県商工会青年部連合会、山口県中小企業団体中央会青年部の3団体で構成されており、今年2月に各団体の発展と連携の促進を目的に発足されました。今回が第1回目の開催となり、株式会社リクルート ジョブズリサーチセンター センター長 宇佐川邦子氏をお招きし、人材確保・育成に係る研修会を行った後、来賓に平屋隆之山口県副知事にもご臨席賜り、懇親交流会を行いました。

研修会、交流会を通し、各団体青年部員の交流が深められる機会となりました。

(総務企画部 後)



「組合まつり in TOKYO」に出展

山口県中小企業団体中央会

本会は、10月30日(水)、31日(木)の2日間、東京都の東京国際フォーラムで開催された「組合まつり in TOKYO」に出展しました。

このイベントは、関東圏を中心に全国の中小企業組合等が各々の製品やサービスを紹介するもので、今年は約130の中小企業組合等が参加しました。展示販売や、ステージでゲストのお笑い芸人による組合の紹介等もあり、組合の商品や技術を多くの方にPRする良い機会となりました。

本会では、山口県地域資源活用型企业組合連絡協議会の会員企業組合をはじめとする県内組合の農産加工品を取りまとめて展示販売し、山口県の組合の魅力ある商品を広く紹介することができました。

(連携支援部 宇多村)



ピッチ大会「チームジャッジ」を開催

山口県中小企業団体中央会

本会では、「連携・共創」の重要性を周知することを目的に、ピッチ大会「チームジャッジ」を11月10日(日)、山口市「KDDI 維新ホール」にて開催しました。

当日は10チームが出場し、それぞれ事業プランを5分間で発表し、それに対して審査員等からコメントを頂きました。最優秀賞である「チームジャッジ大賞」には「ジニーズランプ株式会社：介護や健康上の事情で外出が困難な利用者と隙間時間に資格を活かしたい潜在看護師のマッチングサービス」が選ばれました。

(連携支援部 平田)



「レディース中央会2024全国フォーラムin鹿児島」に出席

山口県中小企業団体中央会女性活躍推進協議会

11月7日(木)、鹿児島市「城山ホテル鹿児島」にて「レディース中央会2024全国フォーラムin鹿児島」が開催され、全国から約220名の女性経営者等が集まりました。

当フォーラムは、『「心が満たされるよかところ」かごしま』をテーマに開催され、株式会社タイヨー 取締役



副社長 清川照美氏による講演や一般社団法人 鹿児島中小企業診断士協会 理事 瀬戸口晴子氏、指宿白水館 女将 下竹原成美氏、軸屋酒造株式会社 代表取締役社長 軸屋麻衣子氏、株式会社下堂園 代表取締役専務 下堂菌麻実氏によるパネルディスカッションが行われました。

当日は、魅力あふれる鹿児島の地で活躍する多くの女性経営者のお話を聞ける貴重な機会となりました。(総務企画部 藤井)

令和6年度第2回講習会を開催

山口県中小企業団体中央会女性活躍推進協議会

11月19日(火)、山口市「防長苑」にて、山口県中小企業団体中央会女性活躍推進協議会 令和6年度第2回講習会を開催しました。

講師には、協議会会員でもあるcoco-emi 代表 小林洋子氏をご登壇され、「リーダーに求められる感情のコントロール術」をテーマにご講演いただきました。家族や上司・部下に対して怒りの感情をどのようにコントロールし、人間関係を良好なものにするか、具体事例を交えながら学びました。

講習会終了後には懇親会を開催し、参加者の交流を深めるとともに、今後の協議会の方針についても話し合わせ、有意義な時間となりました。(総務企画部 後)



南予企業組合協議会との座談会に出席

山口県地域資源活用型企業組合連絡協議会
(やまぐちふるさとくらぶ)

11月11日(月)、愛媛県宇和島市にて南予企業組合協議会との座談会が開催され、本協議会から宇野会長（企業組合うずしお母さんの店理事長）と伊藤副会長（企業組合あぶホームメイド理事長）が参加しました。

南予企業組合協議会は、愛媛県南予地域にある地元農林水産物加工品を製造する企業組合12組合からなる協議会であり、この度山口県と愛媛県の協議会同士の交流及び連携による販路開拓等につなげていくことを目的に、座談会が開催されました。

宇野会長、伊藤副会長からそれぞれの組合について、中央会より本協議会の取組について説明を行った後、南予企業組合協議会の取組や、座談会参加組合の商品等について紹介いただきました。

座談会の最後には、イベントへの共同出展や組合同士のコラボ商品の開発等、協議会同士で連携しての取組について意見交換を行いました。（連携支援部 宇多村）



床屋発祥の地にて「毛髪供養祭」

山口県理容生活衛生同業組合

当組合では、大切な頭を保護する毛髪に感謝を込めて供養し、健康を祈願する「毛髪供養祭」を11月11日(月)、下関市の「亀山八幡宮」にて開催しました。「亀山八幡宮」には「床屋発祥の地記念碑」が建立されています。



役員・組合員の約30名が参列し、県内19支部の組合加盟店舗で集めたお客様の毛髪を奉納供養し、日頃の感謝と健康を祈願しました。吉永理事長は「お客様への感謝と組合員の商売繁盛を祈った。後継者不足や組合員の高齢化などが課題であり、業界全体で考えていきたい。」と話されました。

（連携支援部 平田）

SNS等を活用し、結びつきを高める！

山口県豊工業組合青年部

11月17日(日)、防府市「ルルサス」にて、旅インスタグラマー 中野依里氏を講師に迎えzoomの設定方法、SNSの活用方法等について研修会を行いました。

zoomについては、実際に画面を確認しながら、ホストとして運営側で行う設定方法及び参加の操作方法等について、それぞれ実体験をしながら学び、SNSの活用方法については、それぞれのSNSの特徴や得意とするターゲットの説明を受け、その中でも中野講師推しのInstagramを中心に“何故、Instagramを使うのか？”の理由や運用する上で重要視することなど、実際の事例を交えながら学びました。

参加者にとっては、ZoomやSNS等を上手に活用することで、会員同士の結びつきがより強化できると共に、画面の向こう側のお客様とも効果的に結びつく方法などを学べ、今後の活用に意欲的になるいい機会となりました。

（総務企画部 後）





月次景況調査結果

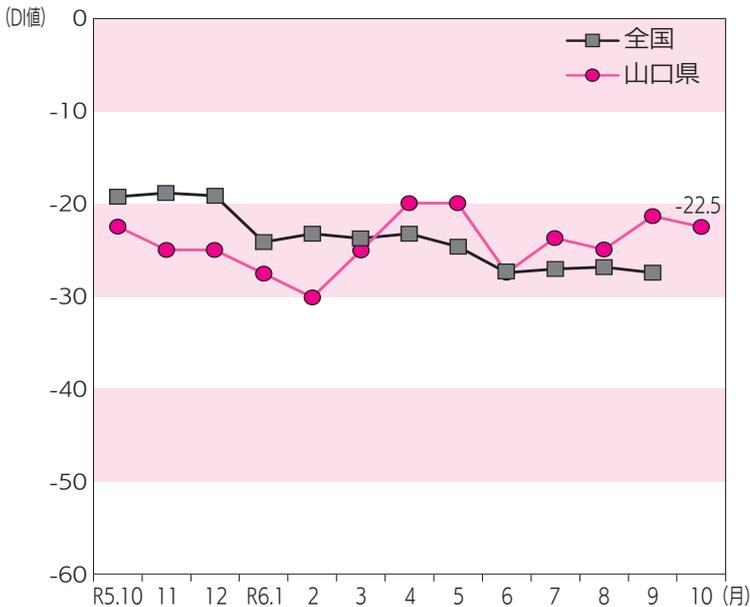
令和6年10月期

販売価格や売上は増加している業種が多いが、原材料・エネルギー価格の高騰や最低賃金の大幅な引き上げ等による人件費の上昇を転嫁しきれず、収益が改善していないことから、景況感は横這いが続いている。

深刻な人手不足は、人材確保コストの増加により収益力の足かせとなり、さらに納期や店舗の稼働等の事業活動に制約を来すなど、今後の事業経営への影響を不安視する報告が多く寄せられている。

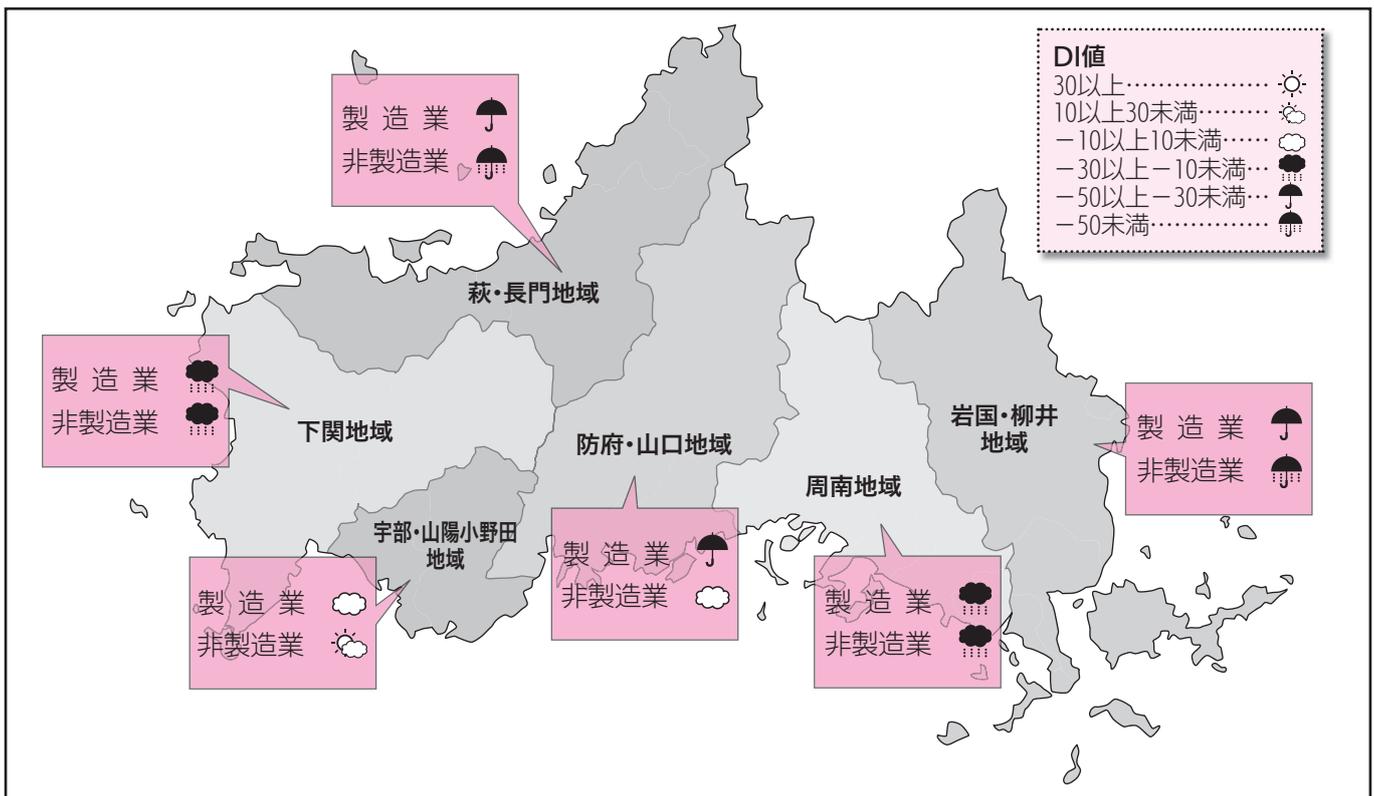
※DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 減少・悪化組合割合

業界の景況DI値の推移 - 全国平均との比較 -



業種別の景況

	業種	前年同月比	前月比
製造業	食料品	☔	→
	繊維工業	☁	→
	木材・木製品	☔	→
	印刷	☔	→
	窯業・土石製品	☔	→
	一般機器	☁	→
非製造業	輸送機器	☔	→
	卸売業	☔	→
	小売業	☔	→
	商店街	☔	→
	サービス業	☁	→
	建設業	☔	↘
	運輸業	☁	→
その他	☔	→	



地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ (<https://axis.or.jp/>) の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製 造 業	食料品	☁️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最低賃金の引上げがあり労務費が上昇、負担感が大きい。(パン・菓子製造業) ○ 原料魚の水揚げが減少。人手不足、人件費の高騰が深刻。(水産食料品製造業 長門市) ○ 原材料や水道光熱費の高騰、最低賃金の上がり幅が大きく、商品の値上げが追いつかない状況。利益が伴う単価設定にしないと厳しい。(水産食料品製造業 下関市) ○ 気候が安定し売上が伸び、同業者の廃業やコロナ前の客の復活で、大口の注文が相次いでいるが、土日祝日に注文が集中するためやむを得ず断るケースもある。(食料品製造業)
	繊維工業	☁️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 10月から値上げしたため販売価格が上昇。イベント関係も増え、売上が増加した。人手不足は悪化している。(帆布製品製造業)
	木材・木製品	☔️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 組合員の平均売上額は、令和5年10月と比べ10%の減少。木材需要の回復は無く、製材品の売上げ減少が続き、在庫の増加、設備操業度の低下も続いている。
	印刷	☔️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 原材料の高騰が続いており、景気の失速による需要、受注額の落ち込みによる更なる状況の悪化は避けられず、大きな危機感を抱いている状況である。
	窯業・土石製品	☔️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和6年1月の値上げが経済調査会の単価に記載される間、建設業者は値上げ価格で購入し発注者側からは値上げ前価格の精算となり、負担となる。(コンクリート製品製造業) ○ 出荷量は前月比139%、前年同月比99%。資材調達は順調。生コン販売価格は安定しているが、一部地区で値上げの動きがある。(生コンクリート製造業)
	一般機器	☁️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 受注量は多く概ね想定受注量・収益状況だが、県下では受注状況(工事量)に格差が広がっている。人手不足の中、外国人労働者が即戦力になっている。(防府市) ○ 世界各国との人材確保競争は厳しく、賃金対応のみならず早急に生活・文化・教育環境等の日本の魅力づくりに取り組み、定住策に対するコンセンサスが求められる。(宇部市) ○ 大きく好転する傾向は今のところ見受けられない。(宇部市)
	輸送機器	☔️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄道車両関係の受注量は2024年度後期以降減少の見通し。人件費、原材料費、電気料等の高騰で、収益悪化が続くと思われる。半導体製造装置の部品製造業は、受注量が低位で推移しており、2025年前半の復調の見通しが多少ずれ込む可能性がある。
非 製 造 業	卸売業	☔️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 倉庫保管状況は良好だが、海苔については不作と価格高で在庫が減少。(乾物卸売業) ○ 水揚げ、売上とも前年を下回った。各種価格高騰の中、販売量が少ない状態で、収益が改善せず、厳しい状態である。祭りでの売上もなかなか上がらない。(生鮮・魚介卸売業)
	小売業	☔️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 売上は前年に比べ微増。コロナ禍でお客様の化粧品や施術への志向が変化し、主力ブランドの魅力を前面に出すような店舗の改装が全国的に進んでいる。(化粧品小売業) ○ 売上は前年同月比13%減少。人手不足により店舗数が減少。昨年同等の営業日が確保できない程影響が大きく、収益見通しの厳しい状況が続いている。(各種商品小売業 萩市) ○ 10月の供給高は前年比102.5%、来店者数93.4%。猛暑等の影響で、野菜の入荷が不安定となり、市場は高値が続いている。(各種商品小売業 下関市)
	商店街	☔️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 10月に入り、祭りやイベントなど季節の行事が開催され始めると消費が刺激され、衣食住ともに動き始め、収支はやや上向いたが、選挙期間の消費は一時止まった。(岩国市) ○ 野菜・果物とも不作で入荷量が減少。高値で利益率が低下、資金繰りも悪化。(山口市) ○ 業種により売上の増減にばらつきがある。飲食店は売上が増加した。(萩市) ○ プレミアム商品券が完売。年末に向けて商店街の活気を取り戻したい。(下関市)
	サービス業	☁️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物価高騰により、来店サイクルが長くなっている。(理容業) ○ 気温が下がり需要が増えてきた。値上げした事業所での売上増加も少なくないが、点数自体の減少傾向と物価高による節約で、業界の先行きに不安がある。(普通洗濯業) ○ 売上、宿泊人員とも昨年同月を上回った。インバウンドは昨年同月比135.9%と好調に推移した。修学旅行、スポーツ大会関連は前年割れの状況。(旅館業)
	建設業	☔️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物価の上昇で景気は回復に向かうと思われるが、業界規模の回復は遅い。(左官工事業) ○ 手持ち工事が減少、見積物件も非常に少ない。総工事費の上昇が大きく、計画の見直し・延期・中止が増加、全体的に工事の動きが悪化している。(鉄骨・鉄筋工事業) ○ 景気は芳しくなく、各種高騰分の価格転嫁ができていない。(一般土木工事業 柳井市) ○ 上半期公共工事発注高は例年の8割、次期の早期発注を望む。(一般土木工事業 長門市)
	運輸業	☁️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人手不足、軽油の高値、運賃高止まりで悩む日々。(一般貨物自動車運送業 下松市) ○ 倉庫保管の引き合いが増加。それに伴い倉庫へ、または倉庫からの運送も増加している。製造、化学原料関係が伸びている模様。(一般貨物自動車運送業 宇部市) ○ 10/1~20分タクシーチケット取扱金額(税込み)は▲8.1%で前年割れ。諸費用の値上げに給与収入も企業収入も追いつかず、需要が減少している(一般乗用旅客自動車運送業)
	その他	☔️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人材不足が慢性化、更に人件費の上昇で経営状況は悪化。特に民間企業は経営が厳しい。提供する食事や原材料、エネルギー価格の高騰で今後の事業経営が不安。(介護事業)

令和6年山口県選奨 受賞おめでとうございます

産業功労

現 山口県中小企業団体中央会副会長
(萩ブランド協同組合理事長)

田村 充正 様

産業功労

現 山口県商店街振興組合連合会理事長
(山口県中小企業団体中央会理事)

北條 栄作 様

保健衛生・環境功労

現 山口県美容業生活衛生同業組合理事長

佐竹 章宏 様

3組合を「モデル組合」に認定します

山口県中小企業団体中央会

モデル組合の募集に際し、多くの組合から応募いただきありがとうございました。

外部委員を含めた審査会での審査を経て、「共同事業を活発に行いつつ、組合員企業の持続的発展に向けた将来像を有し、他の組合の模範となる組合」として、以下の3組合を「モデル組合」に認定することに決定しました。

認定した組合の取組については、今後、会報や各種会議等において紹介させていただくこととしています。

- ◆下関唐戸魚市場仲卸協同組合
- ◆山口県鉄構工業組合
- ◆湯野温泉事業協同組合

人材定着・育成セミナーを開催します！

【日 時】 令和7年1月30日(木) 14:00～16:00

【会 場】 KDDI維新ホール（山口市小郡令和1丁目1-1）

【内 容】 「正解のない時代のマネジメント

～自走する人を育てる要諦～

講 師：株式会社ジェイック 執行役員 竹田 裕彦 氏

【問合せ先】 山口県中小企業団体中央会（担当：総務企画部 後・水野）

TEL：083-922-2606



お申込みはこちらから

おかげさまで 創刊800号を迎えました!

皆様に毎月お送りしている会報が、令和6年12月で創刊800号を迎えました。
長年のご愛顧に感謝申し上げます。これからもご愛読お願いいたします!

History 創刊から68年間の歴史を振り返ってみます。

●昭和31年3月 「山口県の中小企業」創刊



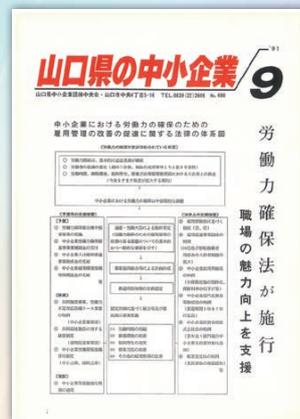
●昭和40年1月
100号
もちろんモノクロ印刷で
写真もほぼ載っていません
でした。



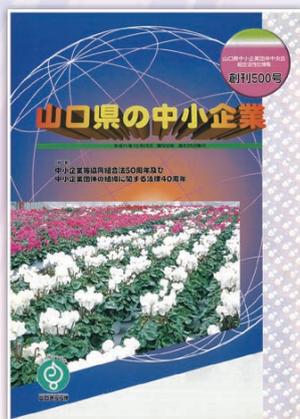
●昭和49年7月
200号
この頃は、中央会へ来ら
れた方の組合名や相談内
容が掲載されていました。



●昭和58年4月
300号
この頃は、経営に役に立
つテレビ・ラジオ番組情
報が掲載されていました。



●平成3年9月
400号
一部カラー印刷となり、
近代的になってきました。



●平成11年12月
500号
この号では、中小企業等
協同組合法50周年と重な
り、特集が組まれました。



●平成20年3月
600号
会員組合や組合事務局の
方のご紹介など、親しみ
やすい内容になりました。



●平成28年8月
700号
現在の会報とほぼ同じス
タイルとなりました。



●令和2年5月
745号
長い歴史を持つ「山口県
の中小企業」を「中央会
やまぐち」と改め、現在
に至ります。